



新潟市立月潟小学校 学校だより 第10号 令和7年2月14日

心の鬼退治

校長 逢坂 一郎

2月2日は節分でした。全校朝会では節分に関して次のような話をしました。

節分とは「季節を分ける」という意味です。今は節分というと2月だけの感じがしますが、昔は、立春・立夏・立秋・立冬の前日の季節の変わり目のことをすべて「節分」と呼んでいました。1年に4回、節分があったんです。節分には「邪気」が入ってくると信じられていました。豆まきは、それらの見えない悪いものを鬼に見立て、それを追い払うために行われるようになった風習です。

節分の鬼といえば赤鬼のイメージが強いですが、節分の鬼の色は5色あります。

仏教では、修行の邪魔をする5つの煩惱（人間が誰もが持っているマイナスの感情のこと）を「5つの鬼」に例えて色分けしました。

「赤鬼」・・・欲深くて何でも欲しがる「欲しがり鬼」

「青鬼」・・・悪口や嫌なことばかり言ういつも怒っている「怒りんぼ鬼」

「黄鬼」・・・自己中心的で自分勝手にわがままな「わがまま鬼」

「緑鬼」・・・やるきが出ない、だらだらするという怠け者の「なまけ鬼」

「黒鬼」・・・人を疑ったり、愚痴をこぼしたりする「人のせい鬼」

これらの鬼は、誰の心にも棲んでいるらしいのです。何かのきっかけで自分の中に「心の鬼」が出てくるかもしれません。ただ、この「心の鬼」は、豆で外に追い払うことはできません。自分の中に現れた「心の鬼」の鬼退治は少し大変です。そんなときは、「心の鬼」を追い出そうという強い気持ちをもって、「心の鬼」の鬼退治をしてください。自分の「心の鬼」を退治し、残り2か月で、1年間のまとめを行い、進学・進級に向けてがんばっていきましょう。

人は誰でも、この「心の鬼」のように弱い心を持っています。強がったり、ごまかしたりせず、自分自身を見つめ、自分の弱さを認めながらも回復するための強い心を持ち問題を解決していくことで成長していきます。トーマスエジソンの「失敗は成功の母」の言葉ではありませんが、子どもたちがたとえ失敗しても、それをチャンスに変え、逞しく成長していけるよう今後も支援し、見守っていきたいと思います。

いなほ発表会

2月1日（土）のいなほ発表会では、生活科や総合的な学習の時間に取り組んだ成果の発表を見ていただきました。地域に出掛けたり、様々な体験をしたりして学んだことを、自分たちで考えた表現方法で伝えることを心掛けました。たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

<p>1年生 学校大好き！ みんなでがんばる1年生！</p>	<p>2年生 ぐんぐんそだて！ 2年生のやさい</p>
	
<p>あさがおやさつまいものお世話などの発表</p>	<p>夏野菜や大根を育てる苦労や工夫の発表</p>
<p>3年生 月潟お宝たんけん隊 ～お宝を守っている人たち～</p>	<p>4年生 SDGsとわたしたちの生活</p>
	
<p>類産梨や民話などの月潟のお宝の発表</p>	<p>SDGsと環境やジェンダー、福祉の発表</p>
<p>5年生 わたしたちと食料生産</p>	<p>6年生 月潟の魅力、再発見！</p>
	
<p>米づくりや梨栽培の苦労や工夫の発表</p>	<p>月潟の地域スポットやイベントなどの発表</p>